

7年間の米国留学で身に付けた

エビデンスに基づいた歯周治療の選択

Clinical Strategies for Managing Periodontal Disease

日時 11月17日(日) 10:00~13:00

会場 コムズ 視聴覚室 A・B 松山市男女共同参画推進センター

講師 白本 知大(しろもと ちひろ)先生
しろもと歯科小児歯科クリニック

参加費 5,000円 当日ご持参ください

プログラム

- ▶ Biologic and clinical background
- ▶ 診断及びリスク因子、予後の判定 ▶ エビデンスに基づいた歯周治療の選択 ▶ 歯周外科治療 ▶ 臨床症例

金崎伸幸先生

(カナザキ歯科院長)

がおすすめします!

裏面の推薦文もご一読ください

白本先生よりメッセージ

米国で歯周病の罹患率は、30歳以上の約半数、65歳以上ではおよそ70%にも及ぶといわれ、日々の臨床の中での対応が常に求められています。疾患を理解し、科学的根拠に基づきながら歯周治療を選択していくことが不可欠です。今回の講演では、文献の考察とともに、病因、予後リスク因子を理解し、歯周外科処置を含む歯周治療のStrategyを臨床症例を交え紹介していきたいと思えます。



講師プロフィール 白本知大(しろもと ちひろ)先生

2011-2012年 九州歯科大学口腔外科第二講座 研修医

2012-2014年 Fellowship (フェロー) Tufts University School of Dental Medicine
Department of Periodontology

2014-2017年 Post-graduate (大学院) Tufts University School of Dental Medicine
Department of Periodontology

2017-2018年 Clinical Assistant Professor (臨床助教) Tufts University School
of Dental Medicine Department of Periodontology

現在 しろもと歯科小児歯科クリニック 勤務

参加申込書

切り取らずにお送りください

医療機関名	TEL	FAX	ゴム印可
ご芳名	(計 名)		

保険医協会

FAX

089-989-2711 申込締切 11月14日

主催 愛媛県保険医協会・愛媛県保険医協同組合 松山市三番町4丁目7-7 TEL089-989-2511 FAX089-989-2711

7年間の米国留学で身に付けた

エビデンスに基づいた歯周治療の選択

Clinical Strategies for Managing Periodontal Disease

日時 11月17日(日) 10:00~13:00

会場 コムズ 視聴覚室 A・B

講師 白本 知大(しろもと ちひろ)先生
しろもと歯科小児歯科クリニック

参加費 5,000円 当日ご持参ください

金崎伸幸先生

(カナザキ歯科院長)

がおすすめします!

推薦文 愛媛保険医協会歯科理事 金崎伸幸

白本君はわたくしの大学の同窓であり、剣道部の後輩でもあります。九州歯科大学で1年間研修医を終了し、彼はアメリカのタフツ大学歯周科にフェローとして有給で入局します。通常は研修医が終わってすぐにアメリカ留学をする人はいないと思います。しかも彼は有給で入局したのですから大したものです。彼にどうやってそのような離れ業を成し遂げたのかと聞いてみると、とにかく海外の大学に片っ端からメールを打ちまくり、自分を受け入れてもらいたいと交渉したそうです。全く勝算はなかったそうですが、幸運にも歯周病の名門であるタフツ大学から彼にオファーがかかりました。

有給でタフツに入り働きながら、その後大学院に進み、米国歯周病専門医の資格も取得します。大学院修了後は同大学で臨床助教として働き、かなり高額給料をもらいながら、トータル7年の臨床経験を積み、アメリカ人の奥さんと共に最近帰国しました。

このような冒険人生を歩んだ白本君の話は単なる歯周病の講義ではないことは確かです。まだ日本の生活に染まり切っていない若いアメリカ帰りの歯科医の話ですが、ここは聞き逃す手はないんじゃないでしょうか？

表面の参加申込書にてお申込みください ↘